

平成 16 年度第 6 回法務委員会議事録

日 時 平成 16 年 9 月 7(火) 1300 ~ 1730

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂委員長、長谷川、友田、染谷、池内各委員

1. 平成 16 年度第 5 回法務委員会議事録確認

2. 今後の法務委員会の活動確認

関係機関や、マスコミ、国民に広めるフェーズ に移行してゆく

・具体的活動内容の確認

事故調査委員会については、JALJ OB 松浦委員との対談を予定

司法当局については、706 裁判主任弁護士の藤井弁護士との対談を計画する。

マスコミに対する取り組みは再度シンポジウムなどの開催を検討してはどうか Pending

3. 706 便裁判見解は修正され理事会見解として、公表されたことを了承した。

常務理事会承認にいたった経緯について委員長より説明があった。

4. 706 裁判 検察側控訴への法務委員会としての対策は？

今後の活動内容にもあるとおり 現段階の状況把握を含め、主任弁護士の意見を伺う。

5. 907 裁判について 法務委員会の取り組みをどのようにするか？

907 事故調査報告書・国土交通省ホームページより 概要、建議、対応策について学習した。

第 1 回公判が 9 月 9 日に開催される。委員会としては池内委員に傍聴してもらい、問題点を抽出した後、対策を検討する。

6. 新しい行政機関発足のための検討会を始めてはどうか

航空機事故被害者に対応する行政機関発足のため調査、研究を開始し NTSB の家族支 局のような組織を作るよう意見する

・資料については安全委員会に渡している。行政に対する働きかけは委員会レベルではなく協会レベルで検討していただくよう具申する。

7. その他

・NHK 若林解説委員のニュース感想 公共性の高いHNKがこの報道に踏み切った影響は

大きいと思う。短時間に良くまとまっているので、理事会にも見てもらってはどうか。等の意見が出された。

・ 長谷川委員の調査した大分・宮崎事故については、その入手エピソードを交えながら過去

の教訓として協会誌に掲載してはどうか 前向きに検討 長谷川委員

- ・ 友田委員からの議題について

個人および使用事業に属す GA の方々が事故に遭遇した場合、JAPA として何が出来るか検討してほしい。

機体保険の団体割引については、協会として前向きに考えてほしい。

現行では松岡弁護士の相談を受けられるように HP などでは知らせているが、実際に利用するところまでには至っていない。

まずは各支部に属す GA の意見収集としてアンケートなどを実施してはどうか。個人的には聞いているが意見が上がってこない。

法務委員会に各支部から委員を選出してもらい、委員会に出席してもらい、理事会に交通費等の支払い改善案を出す

次回委員会開催は 10 月 5 日 (火)を予定しているが現在は流動的です。

以上